

<真剣味>86

2018. 4. 7

『 獲るぞ。NO. 1! 』

<意識・勇気・チェック・挑戦・人の真似・感じ取れる能力・共に闘う・開き直る力(3秒で回復する)>

「充実した遠征を」

3月3日(土)、4日(日)茨城遠征

対福島リトルシニア ① 13対9 勝ち○
② 9対6 勝ち○
③ 6対8 負け●

3月10日(土)、11(日)宮城遠征

対東松島リトルシニア ① 4対9 負け●、② 3対7 負け●

対東北福祉仙台北リトルシニア 2対1 勝ち○

対東北楽天リトルシニア 5対6 負け●

3月17日(土)、18(日)宮城遠征

対仙台宮城野リトルシニア ① 5対5 分け△
② 5対6 負け●
③ 8対12 負け●

対宮城北部リトルシニア ① 0対4 負け●、② 3対5 負け●

3月24日(土)、25(日)長野遠征

対佐久リトルシニア ① 7対3 勝ち○
② 16対3 勝ち○
③ 2対5 負け●

対上田リトルシニア 18対3 勝ち○

対北安南リトルシニア 21対0 勝ち○ 結果 7勝9敗1分

<遠征を終えて>

・大きな怪我をした人がなく、ただ病氣で体調を崩した人は一人いましたが、だいたい遠征は成功と考えています。

・リーダーを中心に生活面から試合中の行動まで、自分達で管理し、また率先した行動が少しずつではありますが、とれるようになってきています。

・全選手(2・3年生)のプレーを試合で見ることができ、新しい発見もありました。

・保護者の方の協力には感謝します。

・朝食時間に遅れたマイナスの反省が1件ありました、その後はきっちりした行動ができていきました。

<反省と課題>○良い・△まあまあ・×努力が必要

◆疲労等によるケガなし○…ひと月という長丁場のなか欠席の選手もいましたが、多くの選手は一生懸命ボールを追いかけていました。疲れがたまっている中でよく頑張っていました。

◆3月の成長2期…冬場の練習で光っていた選手を使う○…試合は相手もいることで、練習のように、打てるボールを思い切りいいスイングをする。×△。投手全員を使う○…ストライクを捕れる得意なボールがある。△

◆試合中、自由に体が動き回るくらいボールに、声に、反応する。△…試合の中で、動き回れるようになるにはもっともっとパターン練習の必要性を感じた。

・その場に応じた声をみんなが発することが必要。横同志・前後・ベンチから全体へ。

・試合の2時間、いかに集中できるか。

・特に外野手の第一歩の素早さ。フライに対しては後ろからくる。

・ワンバウンドゴーに対しての反応を良くする。

・バッティングでの間の取り方、下半身を使ってヒットすること。

・1イニングでの大量失点が少しずつ、減少している。Good!